

令和5年3月15日

(事務担当)

伝統産業振興室 加藤

TEL:076-225-1526 (内4467)

いしかわ生活工芸ミュージアム企画展

春を楽しむ生活工芸

取材のお願い

当館は「いしかわ生活工芸ミュージアム」という通称のもと丸3年が経ちました。この度の企画展は、伝統的工芸品はもちろんのこと、そこから一步踏み出して生活に根付いた数々の工芸の新しい一面をも見ていただけるものです。

雪解けから草花が芽吹いて、北陸は一気に春を迎えます。それを待ち望む気持ちの高まりを爽やかに、華やかに作品に込めて、石川のものづくりの今後を担う若い作家たちの個性に溢れた作品をご紹介します。様々な工芸の“新しい風”を感じさせてくれる企画展です。是非取材して頂きますようお願い致します。

◇**タイトル**：春を楽しむ生活工芸

◇**内容紹介**：幅広いジャンルの若手作家たちの、生活を豊かに楽しくする作品を展示、販売します。

◇**出展者**：石永知美（陶芸）元女貴之（九谷焼）北村紗希（染色）清水早希（ガラス）高橋ナオミ（ガラス）田中若葉（漆芸）中野雄次（ガラス）松尾明香（手すき和紙）松岡静白（金工）

◇**会期**：令和5年3月17日（金）～令和5年5月15日（月）
9:00～17:00（最終日は15:00終了） ※3月は毎週木曜日、4月から毎月第3木曜日休館

◇**会場**：いしかわ生活工芸ミュージアム1Fギャラリー

◇**入場**：無料

ワークショップ：春の草花をすきこむ紙すき体験

春の草花を自由に並べて和紙を漉きます。完成は1週間後で発送もしくは当館受け取りになります。

日時 4月16日（日）10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～

講師 紙すき工房ののわし 松尾明香 対象 幼児以上

参加費 1,500円 定員 各回4名

ワークショップ：マイクロモザイク技法でアクセサリ作り

マイクロモザイク技法は棒状のガラスパーツを枠の中に敷き詰める技法です。アクセサリを制作し、仕上げに金箔を貼り、完成後はそのままお持ち帰りいただけます。

日時 5月7日（日）10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～

講師 松岡静白 対象 小学生以上

参加費 根付2,500円、ペンダント3,500円 定員 各回3名

※両方とも予約は、いしかわ生活工芸ミュージアム(Tel.076-262-2020)まで。空きがあれば当日参加もOK。

〈問い合わせ及び取材申し込み先〉

いしかわ生活工芸ミュージアム（石川県立伝統産業工芸館）

金沢市兼六町 1-1 Tel076-262-2020

<http://www.ishikawa-densankan.jp> 指定管理者 ナカダ・クラフトプロジェクト

広報担当 E-mail : info@ishikawa-densankan.jp

□企画展「春を楽しむ生活工芸」出展作品フォト



令和5年3月15日

(事務担当)

伝統産業振興室 加藤

TEL:076-225-1526 (内 4467)

いしかわ生活工芸ミュージアム企画展

歴史と文化、伝統が息づく 加賀がやってきた！

取材のお願い

石川県において従来加賀地方、能登地方と言う呼び方がされていますが、その境界線は宝達志水町となっています。つまりかほく市以南が加賀地方ということになります。但しこの度の企画展でご紹介するのは、加賀市と小松市、白山市です。この地域は日蓮上人による浄土真宗の布教と一向一揆、古九谷やそれに通じる再興九谷や北前船、また何百年と続く伝統的工芸品の継承など今に伝わる歴史と文化、伝統産業の宝庫と言えます。また、日本三霊山の一つに数えられる白山(2702m)や全長72kmの手取川など自然あふれるエリアも魅力で、肥沃な大地が美味しいコメや農産物を育て酒造りも盛んです。

折しも今年は823年の加賀国誕生から1200年の節目を迎えます。

この度の企画展では歴史や文化、伝統を踏まえつつ、地域に根差して日々進化している加賀の伝統工芸品や手仕事の素晴らしさをご紹介します。新しい加賀の魅力が発見できればと考えています。是非取材して頂きますようお願い致します。

◇**タイトル**：歴史と文化、伝統が息づく 加賀がやってきた！

◇**内容紹介**：加賀市、小松市、白山市に住まう工芸作家たちの作品を展示、販売します。

◇**出展者**：奥田恵子(加賀繻) 榎加門建具工芸(建具) 島田鯛子(染色) 田中瑛子(木工・漆芸) 田畑奈央人(九谷焼) 中谷篁(石材彫刻) 登節子(木目込み人形) 吉田政己(紙漆工芸)

◇**会期**：令和5年3月17日(金)～令和5年5月15日(月)
9:00～17:00(最終日は15:00終了) ※3月は毎週木曜日、4月から毎月第3木曜日休館

◇**会場**：いしかわ生活工芸ミュージアム2F第4展示室

◇**入場**：有料 大人(18歳以上260円、65歳以上210円) 小人(17歳以下100円) 未就学児無料

〈問い合わせ及び取材申し込み先〉

いしかわ生活工芸ミュージアム(石川県立伝統産業工芸館)

金沢市兼六町1-1 Tel.076-262-2020

<http://www.ishikawa-densankan.jp> 指定管理者 ナカダ・クラフトプロジェクト

広報担当 E-mail：info@ishikawa-densankan.jp

□企画展「歴史と文化、伝統が息づく 加賀がやってきた！」出展作品フォト



2023.3.17 fri → 5.15 mon

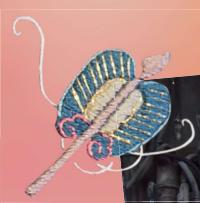
春

を楽しむ
生活工芸



会場：1Fギャラリー

歴史と文化、
伝統が息づく

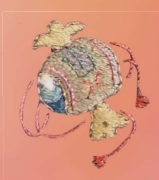


加賀がやってきました!



会場：2F第4展示室

いしかわ生活工芸ミュージアム
石川県立伝統産業工芸館 ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF
TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS



春

を楽しむ生活工芸

2023.3.17 fri → 5.15 mon

当館は「いしかわ生活工芸ミュージアム」という通称のもと丸3年が経ちました。この度の企画展は、伝統的工芸品はもちろんのこと、そこから一歩踏み出して生活に根付いた数々の工芸の新しい一面をも見ていただけるものです。雪解けから草花が芽吹いて、北陸は一気に春を迎えます。それを待ち望む気持ちの高まりを爽やかに、華やかに作品に込めて、石川のものづくりの今後を担う若い作家たちの個性に溢れた作品をご紹介します。日常生活を豊かに、楽しくする工芸品に是非会いに来てください。

出展者：石永知美（陶芸）、元女貴之（九谷焼）、北村紗希（染色・切絵）、清水早希（ガラス）、高橋ナオミ（ガラス）、田中若葉（漆芸）、中野雄次（ガラス）、松尾明香（和紙）、松岡静白（金工）

期間 2023年3月17日(金)～5月15日(月) 会場 1Fギャラリー(無料ゾーン) 時間 9:00～17:00(最終日のみ15時まで)



WIS day — 春の草花をすきこむ 紙すき体験 —

春の草花を自由に並べて、和紙を漉きます。完成は1週間後で、発送もしくは当館受け取りになります。

日時 4月16日(日) 10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～

講師 紙漉き工房のわし 松尾明香

対象 幼児以上 参加費 1,500円 定員 各回4名

WIS day — マイクロモザイク技法でアクセサリ作り —

マイクロモザイク技法は棒状のガラスパーツを枠の中に敷き詰める技法です。アクセサリを制作し、仕上げに金箔を貼り、完成後はそのまま持ち帰りができます。

日時 5月7日(日) 10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～

講師 松岡 静白 対象 小学生以上

参加費 根付2,500円、ペンダント3,500円 定員 各回3名

予約は、いしかわ生活工芸ミュージアム(076-262-2020)まで。当日も空きがあれば飛び入り参加大歓迎!

歴史と文化、
伝統が息づく

加賀がやってきました!

石川県加賀地方は昔から絹織物や瓦、茶、たたみ表など、産業の分野で加賀藩が保護奨励し、それが現代にも大きな影響を与えています。2016年には弥生時代から石と共に刻んできた小松の歴史や文化を物語る「珠玉と歩む物語」時代から石と共に刻んできた小松の歴史や文化を物語る「石文化」が脚光を浴びています。これが「日本遺産」に認定され、小松市の「石文化」が脚光を浴びています。この度の企画展では、歴史や文化、伝統を踏まえつつ、地域に根差して日々進化している加賀の伝統工芸品や手仕事の素晴らしさをご紹介します。

出展者：奥田恵子(加賀織)、(有)加門建具工芸(建具)、島田輝子(染色)、田中環子(木工・漆芸)、出淵奈央人(九谷焼)、中谷章(石材彫刻)、巻節子(木目込み人形)、吉沢政司(紙漆工芸)

期間 2023年3月17日(金)～5月15日(月) 会場 2F第4展示室(有料ゾーン) 時間 9:00～17:00(最終日のみ15時まで)

体験 PROGRAM

いつでも体験出来ます

※都合により中止となる場合がございます。詳細についてはホームページでご確認ください。

水引ぼち袋



(体験料 / ¥500+入館料)

繻細工



(体験料 / ¥500+入館料)

組子のコースター



(体験料 / ¥1,000+入館料)

天然の素材でつくる カスタネット



(体験料 / ¥600+入館料)

【受付時間】
①9:00～11:00 ②13:30～16:00

【所要時間】
いずれも約20分程度

※5人以上で体験希望の場合は3日前までに電話予約をお願い致します。TEL:076-262-2020
※上記の体験はいずれも当館2Fへの入館が条件となっております。入館料は下記をご覧ください。

次回企画展

5/19(金)～7/17(月)

きもちとかたち
工芸を楽しむ料理時間

伝統工芸士、職人による実演・体験の日程

★マークは体験あります。

3月	4日(土) 珠洲焼 ★	4月	1日(土) 九谷焼	5月	3日(水祝) 金沢箔 ★
	5日(日) 珠洲焼 ★		2日(日) 九谷焼		4日(水祝) 金沢箔 ★
	11日(土) 山中漆器		8日(土) 山中漆器		5日(金祝) 金沢箔 ★
	12日(日) 山中漆器		9日(日) 山中漆器		6日(土) 檜細工 ★
	18日(土) 七尾和ろうそく★		15日(土) 和紙川北★		7日(日) 檜細工 ★
	19日(日) 九谷焼		16日(日) 和紙川北★		13日(土) 加賀友禅
25日(土) 和紙仁行★	22日(土) 金沢仏壇	14日(日) 加賀友禅			
26日(日) 和紙仁行★	23日(日) 金沢仏壇	20日(土) 金沢仏壇			
	29日(土) 輪島塗	21日(日) 金沢仏壇			
	30日(日) 輪島塗	27日(土) 九谷焼			
		28日(日) 九谷焼			

【実演時間】午前10時から午後3時まで(正午から午後1時までは休憩) 【実演場所】1階エントランスホール
※日程は変更となる場合がございます。※詳細はいしかわ生活工芸ミュージアムまでお問い合わせ下さい。

開館時間

午前9時～午後5時
(入館は午後4時45分まで)

休館日

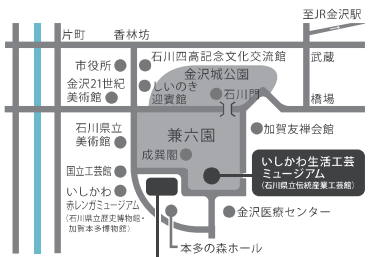
4月～11月 毎月第3木曜日
12月～3月 毎週木曜日および
年末・年始(12/31～1/3)
(祝日の木曜日は除く)

入館料

1階:無料		
2階:有料	個人	団体(30名以上)
大人 18才以上	260円	210円
大人 65才以上	210円	210円
小人 17才以下	100円	80円

交通案内

バス JR金沢駅より北鉄バス小立野方面行きに乗車約15分。出羽町下車。徒歩1分。
タクシー JR金沢駅から約15分。
車 北陸自動車道金沢東または金沢西インターから30分。駐車場有(無料)



兼六園周辺の文化施設共用無料駐車場もご利用できます。(能楽堂駐車場)

いしかわ生活工芸ミュージアム

石川県立伝統産業工芸館 ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS

金沢市兼六町1番1号(兼六園小立野入口隣り) Tel.076-262-2020 Fax.076-262-8690



電子チケット
販売サイト

https://www.e-tix.jp/
ishikawa-densankan/



HP
サイト

https://www.ishikawa-
densankan.jp



@densankan



いしかわ生活工芸
ミュージアム